

ひゅうが市議会だより

陽だまり

2016

12月号

1月27日発行

NO.147



日向市消防出初式

台風16号災害復旧費

21億9千万円

編集
議会広報特別委員会

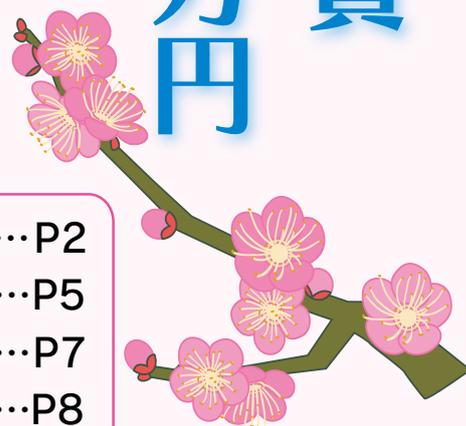
お問い合わせは
日向市議会事務局
〒883-8555 日向市本町10番5号
TEL: 52-8348 FAX: 52-8148
E-mail: gikai@hyugacity.jp

日向市議会

検索



定例会議案内容……………P2
定例会審議結果……………P5
議会報告会開催報告………P7
いっぱん質問……………P8



請願・陳情と審議結果 市民提案として審議しました

【新規】請願第10号 国民健康保険制度の改革にあたり、国庫負担割合の引き上げを求める意見書提出の請願

□請願者：宮崎市和知川原2丁目25-1 宮崎県社会保障推進協議会 会長 山田秀一さん
□趣 旨：国民健康保険制度の改革にあたり、国庫負担割合の引き上げを求める意見書を提出すること。

結果 採択 (賛成多数)

【新規】請願第11号 介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める意見書提出の請願

□請願者：宮崎市和知川原2丁目25-1 宮崎県社会保障推進協議会 会長 山田秀一さん
□趣 旨：介護保険制度の給付対象の縮小と利用者負担増の検討を中止し、制度の充実・改善を求める意見書を提出すること。

結果 不採択 (賛成少数)

【新規】請願第12号 後期高齢者医療制度の保険料軽減特別措置の継続を求める意見書提出の請願

□請願者：宮崎市大島町天神前1175-3 宮崎県高齢期運動連絡会 会長 田中哲史さん
□趣 旨：低所得者に対する負担に配慮したものとなるよう、後期高齢者医療制度の保険料軽減特別措置の継続を求める意見書を提出すること。

結果 採択 (賛成多数)

【新規】陳情第4号 新財市区災害対策に関する陳情書

□陳情者：日向市大字塩見1851-3 新財市区長 松本和育さん
□趣 旨：鯉場川の抜本的な災害対策を図ること。城山北側の山林を伐採している事業者に作業を中止するよう指導すること。

結果 継続審議 (全員一致)

【新規】陳情第5号 向洋台区の法面崩壊の危険性に関する陳情書

□陳情者：日向市大字平岩6449番地234 向洋台区長 日高辰彦さん
□趣 旨：区内の法面管理を市にお願いしたい。区で管理する場合、市から補助を出せないか。法面の排水用の溝に蓋をつけられないか。公民館前の溝の隙間を塞いでほしい。法面下の道路の段差をなくしてほしい。区内から区外へ通り抜けできる道を通してほしい。

結果 継続審議 (全員一致)

▼委員会提出議案及び議員提出議案の審議結果と提出先・送付先（青字は原本、黒字は写しを送付）

議案名・意見書	審議結果	提出先・送付先
議案第6号 地方議員の厚生年金への加入を求める意見書	可決 (全員一致)	内閣総理大臣、財務大臣、内閣官房長官、総務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長 県選出国會議員、県議會議員、全国市議會議長会
議案第7号 国民健康保険制度の改革にあたり、国庫負担割合の引き上げを求める意見書	可決 (全員一致)	内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長 県選出国會議員、県議會議員、全国市議會議長会
議案第2号 後期高齢者医療制度の保険料軽減特別措置の継続を求める意見書	可決 (賛成多数)	内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長 県選出国會議員、県議會議員、全国市議會議長会

平成28年度 議会報告会 を開催しました

11月7日から15日にかけて、3回目となる議会報告会を行いました。議長を除く21名の議員が4班に分かれ、市内11カ所、参加いただいた総計146人の方々と有意義な意見交換を行うことができました。

各会場で出された要望等については、市長宛てに議長名で実施報告書を送付し、対応を求めました。また1月5日の区公連運営委員会に議長が出席し、お礼を述べるとともに、全区長に実施報告書をお届けしました。各会場で出された質問や意見、要望の一部を紹介いたします。



議会報告会（東郷地区）

質問と回答

Q 浸水が懸念される塩見川の堤防改修、福瀬橋の補強の見直しについて。

A 津波被害想定にもかかわらず、塩見川浸水区域内の堤防は改修の予定になっていないので、県・市関係部局に対応を申し入れる。福瀬橋については、落橋防止の工事が予定されている。

Q 東郷病院は、医師が3人確保できないと建

A 病院事業債を借りる条件がある。

Q 富高小学校、次に細島小学校という建替の順番はどうして決まったのか。

A 建設時期、耐震の現状等を検討して決めている。

意見

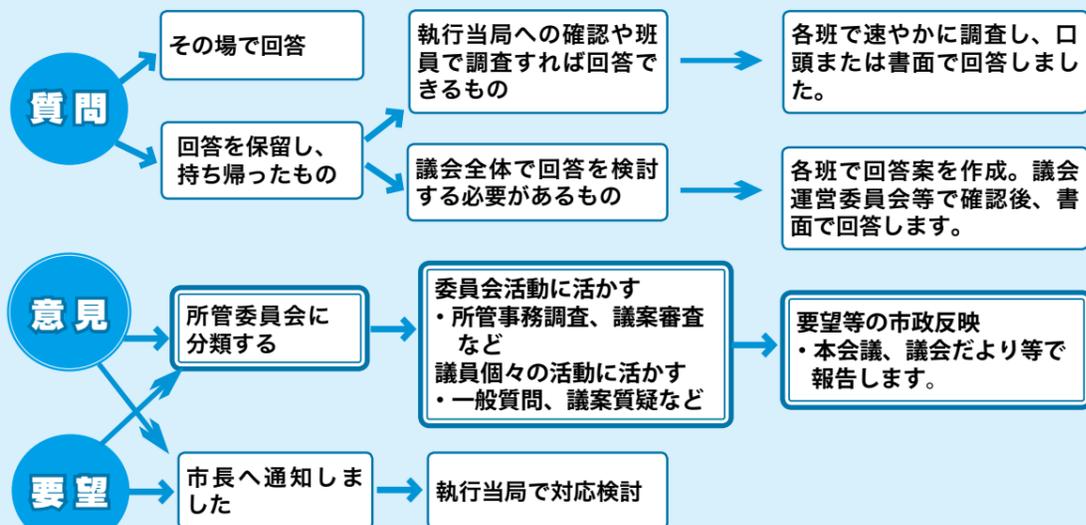
・避難山ができるらしいが、他の施設の方が良いのではないか。

- ・ふるさと納税の収入源を、スポーツ施設の改善に利用できないか。
- ・長く見直しができない政策については、中止を含め再度検討すべき。
- ・ぶらっとバスより、市から補助を出してタクシーを利用した方がいいのでは。
- ・鳥獣被害対策の補助金の支払いが遅い。また、対策の強化も。
- ・まちづくり支援事業の審査方法として、現地確認も必要ではないか。
- ・観光資源を掘り起こし、観光浮揚に繋げては。

要望

- ・議会報告会にもっと市民が集まる工夫をしてほしい。
- ・駅通り区の津波避難路について、もっと高齢者避難にも配慮をしてほしい。
- ・今後の日向市の農業について、真剣に討議してほしい。
- ・ぶらっとバスを日曜日も運行し、料金も見直してほしい。
- ・太陽光発電施設の開発に不安がある。開発事業者に対して市が指導してほしい。
- ・文化や美術が展示できる美術館を建設してほしい。
- ・牧水短歌甲子園を東郷文化センターで開催してほしい。
- ・自治会への加入促進を図ってほしい。
- ・不法投棄への対策をしてほしい。
- ・議会ごとに議会報告会を開催してほしい。

【議会報告会で出された質問、意見、要望のその後の流れ】





黒木 中原区、高見橋通り区、広見区、新財市区の排水対策が急がれる。台風16号のような豪雨による排水対策にどう対応して、地区住民の財産を守るのか、今後の対応計画について問いたい。

市長 本地区の一部は、地盤が低いいため、台風や集中豪雨等、特に満潮時と重なった場合、塩見川や富高川の水位が上昇し内水が排出できなくなり、浸水被害が発生する。応急的な対策として、大雨等浸水被害が予想される場合は、国土交通省のポンプ車(60トン/分)の借り入れ要請、また水中ポンプの設置を

自

自然災害から市民の命と財産を守る市政を

黒木万治 議員

答

浸水被害が予想される場合は水中ポンプ等設置

行うことにしている。

鳥獣被害対策の拡充

黒木 農産物への被害が広がっているのが現状であり、被害対策に懸命な現場を後押しする施策と予算の拡充が必要と考える。現状をどのように捉えているのか。また、今後の対策強化への取組みについて問いたい。

部長 野生鳥獣による農作物等の被害については、防護柵の整備や有害鳥獣の捕獲等の取組みにより、一定の抑制効果はみられるが、今後、さらなる野生鳥獣の活動域の拡大が懸念される。市とし



市総合福祉センターの2階から見た中原地区の浸水被害

機関と連携を図りながら、ジビエの有効活用について研究等を行い、あわせて狩猟者の後継者育成のための環境整備など、施策等の拡充に努めたい。



斬 新たな発想転換の手法と自主財源確保の庁内態勢は

西村豪武 議員

答 報連相で協議を図り、税の公正公平の観点で取り組む



西村 次年度予算編成の決意。「市民の視点と斬新な発想転換」での事業導入や自主財源確保、効率的な事業推進のための取組みを示せ。

市長 地域活性化を図り、市民協働の取組み推進が不可欠。施策

高額未収固定資産税の対応を示せ

西村 6千万円余の税未収事案について、6月議会で「細かな話ではないが、時系列的に、なぜこうなったのか不思議な感じだ。行政として税の公平性を重視してまいりたい」との答弁があった。就任後の再協議でも、延滞税減額の4千万円ではなく、全額納

子

育て世代包括支援センターの整備は

三樹喜久代 議員

答

こども課内に平成29年度に整備する方向で検討



三樹 妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援を行う体制の整備は、若い移住者を取り込むためにも早急に取り組むべき課題である。内閣府は、少子化対策の中で「子育て世代包括支援センター」の全国展開を目指している。本市では、どこに、どのような体系で整備するのか伺う。

市長 私の公約の「ヘルシースタート事業」

市長 交渉中の案件が複数あり、土地所有者とも協議して誘致に



「子育て世代包括支援センター」設置検討場所（こども課）

を実施する上でも核となるものだ。同センターの設置に向け、児童虐待防止等の「要保護児童等に対する支援拠点」整備を含め、関係機関との連携を図りながら、総合的相談や支援をワンストップで行うための体系づくりを進めている。

企業誘致による雇用確保

市長 本市企業立地促進条例による奨励措置では、対象企業の設

備投資に対し、固定資産税を3年間課税免除するほか、新規雇用等の状況に応じた各助成金を交付するため、企業立地初期は財政負担が生じる。しかし、奨励措置終了後、固定資産税や法人市民税の増収増、新規雇用の創出による個人所得の向上も期待できることから、長期的な税収の確保につながる。



新たに策定される総合計画、行財政改革大綱

市長 行政の継続性があり、時の執行権者

部長 調査を随時行い、市長等と相談していく。財源確保は大切だが、それ以前の問題として、法にのっとった事務の遂行が重要で、今後もそう対応していく。

事業の「選択と集中」が求められるがどうか

森腰英信 議員

答 「若者に選ばれるまちづくり」を重点施策に掲げる



森腰 コスト面からみる今後の行政のあり方について問う。

市長 主な財政指標は改善傾向にあり、取り組みの効果は出ていますが、財政需要は確実に増高していくと見込まれる。現在策定中の「第2次日向市総合計

画」で、重点施策として「若者に選ばれるまちづくり」を掲げ、「人づくり」「賑わいづくり」「安全安心なまちづくり」などさまざまな施策を一体的に取り組んでいきたい。来年度以降は同総合計画と連動した行政経営システムの構築と併せて、事業のスクラップ・アンド・ビルドの取組みが反映できる行政評価等のあり方を検討している。介護予防事業におけるインセンティブの導入については、協議を重ねたい。

部長 地域包括ケアシステムの機能強化を図るのに有効と思われる「E-KANGO」システムの導入については調査研究していきたい。

生活弱者への行政サービス

森腰 交通弱者や災害弱者に、きめ細かな

「チーム学校」を機能させるには

森腰 中教審答申を踏まえ、これからの学校運営について問う。

教育長 校長のリーダーシップがこれまで以上に重要である。専門性を有する職員の配置については、国の動向を見極めながら適切に対応していきたい。



介護予防へ（いきいき100歳体操）

任期

期が終了した任期付職の再設置を問う

答

企業誘致、細島港の物流対策の重要性に対応

木田吉信 議員



木田 9月議会で市長・副市長の答弁が理解・納得ができなかったため、前回に引き続き再度質問を行う。「日向市の一般職の任期付職員採用に関する条例」に關し、平成28年3月で5年の任期が終了した産業集積・物流担当理事職を再配置した理由について問う。

市長 東九州自動車道の開通に伴い、企業誘致の促進による雇用の場の創出、細島港の

活用をはじめ物流対策が、さらに増大すると考えて私が選任して決めた。

木田 現業職員採用について、大阪市・その他の区市町村などは、現業職をなくす方向（一般職への任用替や民間委託等）での行政改革を行っている中で現業職の採用を行う理由、業務内容が違う現業職と一般職の給料表が同じになっている理由について問う。

市長 サービス低下を招かないよう、職員の年齢バランスをある程度考える必要がある。採用した。また、給料表については、県内の

スポーツタウン日向づくりには施設整備が必要では

海野誓生 議員

答 将来を見据えた「スポーツ施設整備基本構想」を策定



海野 美々津中学校区の小中一貫教育は「一体型」が望ましいと言われているが。

教育長 小中一貫教育については、美々津中学校、美々津小学校、寺迫小学校の教職員が、年4回の合同研修を実施したり、中学

校の体育大会に参加したり、児童・生徒の交流を行っている。美々津中学校は南海トラフ巨大地震による津波のこともあり、地域の方々の意見を聞きながら、実態に即した教育環境の整備について、調査・研究をしていきたい。

海野 「スポーツタウン日向」づくりの推進とスポーツ施設の整備は。

教育長 本市のスポーツ施設は、昭和46年に整備された体育センターをはじめ多くの施設が、昭和54年に開催された宮崎国体にあわせて整備されており、各施設とも老朽化が進んでいる。「スポーツタウン日向」づくりを推進する上で、野球場の整備は大きな課題であると考えており、将来を見据えた施設の整備を行うため、「スポ

ほとんどの自治体と同じ行政職給料表を適用している。

廃校後の地域振興を

木田 廃校になると文化の継承、指導の場がなくなり、地域の伝統文化が衰退していく

「廃校になった地域の振興」について問う。

教育長 子育て世代の流出、地域の伝統文化の衰退が懸念される。施設の有効活用を図ることも一つの方法と考える。



坪谷中学校（平成23年3月閉校）

「スポーツ施設整備基本構想」の策定に向けた事務レベルでの協議を行っているところである。

子どもたちのスポーツ支援を

海野 経済的要因でスポーツをする機会が得られない子どもたち

必要があると思うが。

市長 スポーツ少年団やクラブ活動等に関しては、経済的な負担が大きく、家族の協力も必要なことから、家庭の経済状態との関連が指摘されており、現状を十分把握したうえで、今後の計画策定において検討していきたい。



整備が待たれる大王谷運動公園野球場

確定申告書等にマイナンバー記載は必要か

谷口美春 議員

答 マイナンバーの記載が無くても申告書の収受は行う



谷口 源泉徴収票及び確定申告書等の提出時、マイナンバーの記載が有る場合と無い場合で受理の方法に違いはあるのか。

部長 給与支払報告書の場合は、給与支払者が確認することになっているので、市が改



日向市産業支援センター「ひむか-Biz」

めて確認書類等の提示は求めない。申告書の提出の際、マイナンバーの記載が有る場合は「マイナンバーカード」及び「通知カード」等で本人確認を行うが、マイナンバーの記載が無い場合は、制度の説明及び確認書類等の提示についての指導を行うが、記載が無くても申告書の収受は行う。

谷口 特別徴収義務者に送付する「税額の決定通知書」に、従業員のマイナンバーを記載するのか。

部長 総務省自治税務局からの通知に基づき、記載したうえで通知する。

小規模企業への支援策

画としては、来年1月にオープンする「ひむかBiz」で、中小企業の上アップと企業者の育成・支援を行う

谷口 小企業者への具体的な支援策と、今後の計画は。

市長 「日向ひとものづくりセンター」の位置付けや、企業への支援として、経営力の強化や営業・販売力向上のセミナーなどを実施している。今後の計

画として、来年1月にオープンする「ひむかBiz」で、中小企業の上アップと企業者の育成・支援を行う

谷口 小規模基本法の観点から「商店版リフォーム助成制度」の創設を。



部長 国の「小規模事業者持続化補助金」を利用してもらっているため、新たな制度の創設は考えていない。



黒木 地域から要望が強い医師3名の確保と入院再開の見直し、また改築計画、救急車配備について問う。

市長 医師確保は関係機関に要請しているが状況は厳しい。入院再開も常勤医師3名体制が前提となるので、明確な時期、見直しを示すのは困難。当面は

東

郷病院の医師確保と改築は

黒木金喜 議員

答 診療体制を再構築し入院再開を優先したい

医師確保と入院再開を最優先に取り組み、経営改善を図った上で、財源計画を再検証し、改築計画を進めたいと考えている。救急車配備は検討を行っている。

市長 市道戸の口線は、農地・農道・河川等の国の災害査定後に早期復旧に努める。早期水稲の作付は困難だと認識している。国道327号は、永田バイパスを延伸し、「道の駅とうごう」まで整備計画立案を要望した。

大規模自然災害対策

黒木 台風16号の被害と復旧対策を問う。

市長 市道戸の口線は、農地・農道・河川等の国の災害査定後に早期復旧に努める。早期水稲の作付は困難だと認識している。国道327号は、永田バイパスを延伸し、「道の駅とうごう」まで整備計画立案を要望した。

畜産の振興

黒木 来秋の全国和



富井 骨髄ドナー登録の必要性についての認識はいかがか。

市長 「骨髄移植」は、提供するドナーの白血球の型との一致が不可欠。兄弟姉妹で4人に1人、それ以外では数百人から数万人に1人とまれなことから、一人でも多くの方のドナー登録が必要な状況にある。このことから、白血病をはじめとする「骨髄移植」が必要な方にとって、ドナー登録の拡大は大変重要な課題と認識している。

富井 全国的に、若年者層の登録が非常に少ない。市として、若

市長 県内でも20歳代から30歳代の年代が少ない状況にある。高校生へのパンフレットの配布や、成人式等のイベントを活用した、

富井 全国的に、若年者層の登録が非常に少ない。市として、若

教育長 本市では、小中一貫校や英会話教育、キャリア教育の推進など、他の市町村に先駆けて、さまざまな取組みにチャレンジし成果を上げている。それらをさらに充実させることはもちろん、それらを相互に機能させながら、しっかりとした

教育長 校務を効率化させ、学習指導や生徒指導の質を向上させる有効な手段。しかし、メリットだけでなくデメリットもある

市長 和牛共進会は、候補牛の指導に取り組み。導入事業は、子牛価格や母牛更新の状況等考慮して判断する。鳥フルは防疫の徹底に努める。

文化の振興

黒木 国民文化祭への取組み、高森文夫顕彰会設立の考え、市文化連盟への補助金見直しについて問う。

教育長 国民文化祭に向け、神話、牧水、ひよつとこ踊り等を全国に発信したい。顕彰会については、郷土の

財産として顕彰し、今後必要な支援をしていきたい。市文化連盟へも支援を検討したい。



で、しっかりと見極めながら、効果を最大限に活かせるような導入と運営を図っていききたい。

富井 一番力を入れたい部分は何か。

今後の教育行政を問う

若い世代への周知・啓発の強化に努めていきたいと考えている。



骨髄バンクの登録パンフレット

骨

骨髄ドナー提供者への助成制度の導入を

富井寿一 議員

答 実施している自治体の情報収集に努め調査研究する



東郷町の台風被害



非

核平和宣言都市＝市民の願いに
応える取組みを

荻原紘一 議員

答

いかなる場合も平和的手段による
解決策を探るべきだ

を図っていただきたい。

災害から暮らしを守る政治を

子どもの通学に 関する安全対策を

荻原 各学校で、通
学路における危険箇所

の状況調査が取り組ま
れている。綿密な実態
調査だけに、子どもの
命と安全を守るうえで
早急に活かすことが重
要だがどうか。

教育長

調査結果を
受け、学校安全監視員に
登下校の指導を強化して
いただいたり、道幅の拡
張や歩道の整備などを
行っている。

荻原

台風16号は大
きな被害をもたらして
いる。被災者の立場に
立った生活と生業の再
建について、被災者生
活再建支援法の改正を
はじめ県・市の支援制
度の改善充実も求めら
れているがどうか。幹
線道路や用水路などの
復旧工事の長期化への
対応はどうか。

市長

各種支援体制
の充実等については、
今後、国・県の動向を
注視する。災害復旧工
事は、重要な施設等から
早期の復旧に努める。



庁舎に表示されている「非核平和宣言都市」看板

市

営住宅ほか市が管理する 住宅の現状と今後

日高和広 議員

答

適正な維持管理を行い 有効的に活用



住宅は住民の生活・安
全安心が優先でありバ
リアフリーなど高齢者
などにやさしい住宅に
改造または建て直すべ
きではないか。

市長

日向市公営住
宅長寿命化計画に基づ
き更新コストの削減と
事業量の平準化を図っ
ている。公共施設マネ
ジメントとの整合性を
踏まえながら適正な維
持管理を行い、有効的
に活用していきたいと
考える。

市の災害対策マニュアルと職員の臨時的な配置

日高

被災直後の対
応が一番大切であり、
有事の際、市長の号礼
の下、庁内に最低限度
の職員を残し災害現場に
出向くべきではないか。

部長

多くの被災箇
所を早急に対処するた
めには多くの人員が必
要であるため、早急に
取り組むべき業務につ
いては庁内の横断的な
取り組みを強化してい
きたい。現在、今回の台
風対応について課題の
取りまとめを行ったの
で、それらを整理しな

から防災体制の整備と
職員の防災意識のさら
なる向上を図りたい。

により、住民の不安が
増大。抜本的な対策は、

市長

現地調査や地
元住民との話し合いの
結果、宅地の嵩上げに
よる手法として、土地
区画整理事業を検討す
る。今後は、現在施工
中の2地区の進捗状況
等を勘案しながら検討
する。

し、自治会活動の理解
と参加の呼びかけをし
ている。少子高齢化、
人口減社会を迎え、地
域コミュニティの中核
的役割を担う自治会
(区)は、ますます重
要となってくるので、
今後とも加入率の向上
に努める。

慢性化している高見橋 通りの冠水対策は

松葉 台風16号での
床上・床下浸水の被害



築60年を超える細島小学校

築

60年経過した細島小学校の
整備は

松葉進一 議員

答

平成29年度以降に校舎の
全面建て替えを計画



松葉

耐震化もされ
てないため、児童に与
える影響に不安を抱く
住民が多い。地区の防
災拠点としての役割も
担う小学校の早急な建
て替えを。

自治会(区)の 加入促進を

松葉

住民の親睦と
融和を図り、より充実
した心豊かな生活を営
むことを目的とした自
治会(区)への未加入
世帯に対する加入の取
組みは。

市長

広報や区加入
チラシなどを各区の役
員さんが未加入世帯に
配布し、区加入の願
いをしていく。また、
ケーブルテレビの「市
政だより」等も活用

教育長

平成29年度
以降に富高・細島両小
学校の耐震化を順次実
施の予定。細島小学校
については、校舎の全
面建て替えを計画。最
新の耐震基準により、
教育環境の向上を図り、



空き家が目立つ市営住宅



地

籍調査事業の現状と今後の課題及び対策は

若杉盛二 議員

答 地域経済の活性化、災害の迅速な復旧に重要と認識



若杉 地籍調査事業は、日向市全域にわたるさまざまな効果を及ぼす重要な事業であるが、その進捗率は県内でも最低レベルである。本事業の重要性及び取り組み、対策について伺う。

市長 本事業は、土

地トラブルの防止や土地取引の円滑化及び、国土の利活用や自然災害の迅速な復旧対応等を行う上で、大変重要な事業であると認識している。取り組みについては、事業の目的や事業効果について関係者との合意形成に努めるとともに、予算の確保など、早期完了を目指す。また、新たな地区選定については継続地区を優先し、効率的な事業の促進を図っていく。

動物愛護を問う

若杉 飼い主不明猫に対する認識と対策及び本市の不妊去勢手術の助成事業の実施について伺う。

市長 昨年度から市内において、県が行う「地域猫対策モデル事業」が実施されており、啓発看板の設置及びボランティアによるエサ場・トイレの管理

日

向市観光情報アプリの開発推進を

治田修司 議員

答

他自治体の導入事例を参考に研究していきたい



治田 本市の優れた観光資源を全国へわかりやすくアピールできるアプリ開発を進めてはどうか。

市長 観光情報に特化したアプリによって、観光客に対して、今が旬の新鮮な観光スポット情報等の発信が可能になるなど、有効な情報発信方法の一つになると認識している。

3つの問題の取り組みは

治田 いじめ問題は、どの学校でも起こり、すぐに解決できない問題でもある。これまでの事例を研究し、対策を講じていかなければならないが、本市のいじめに関する相談件数の状況を伺う。

教育長 全ての小中学校におけるアンケート調査等により、毎月報告を行い、10月までの実態として、小学校144件、中学校67件、計211件の認知があり、その都度各学校で教育相談を実施しながら、解決を図っている。

治田 いじめの未然防止のための学校の対

応を伺う。

決を図っている。

教育長 未然防止には早期発見・早期対応が最も重要である。毎月いじめの状況について確認するとともに、いじめを受けたと感じている児童生徒に対して、学級担任やカウンセラーによる面談を行ったり、当該児童生徒との間で話し合いの場を持つたりしながら解決を図っている。

治田 いじめ防止プログラムについて市の現状を伺う。
教育長 「日向市いじめ防止きずなプラン」を策定し、子どもたちの「居場所づくり」「絆づくり」を目指して取り組んでいる。



日向岬 馬ヶ背茶屋

等に本市も協力している。不妊去勢手術については、県のモデル事業において昨年度は49頭、今年度は11月現在で35頭実施している。今後は、本市としても県と連携と協力をさらに進めていきたいと考えている。

若杉 学校教育機関としての認識と取り組み



生まれたばかりの子猫に優しく接する雌の成犬

について伺う。

教育長 命あるもの尊さ、自他の生命を大切に育むことは大変重要と認識している。各学校では、道徳の時間を中心に人と動物が共生していく社会の大切さに気付け動物愛護の心を育てていきたい。

政 策のハード・ソフト両面での本質的な転換を

岩切 裕 議員

答 若者が住みたいと感じるまちづくりを推進する



岩切 急激に人口減少が進んでいる。国勢調査の数値で推測すれば、本市では約60年で現役世代がゼロになり、さらに約80年で子ども世代がいなくなる。この現状を直視すれば、政策のハード・ソフト両面で、より本質的な認識・発想の転

換が求められると思うが、いかがか。

市長 雇用があっても求める人材が集まらないことが深刻な課題。雇用の確保だけでなく、教育や医療、福祉、安全安心なまちづくりなど若者が住みたいと感じるまちづくりの一体的な推進が重要だと認識している。

公共施設メンテナンスの本格的な推進を

岩切 老朽化が放置状態の諸施設の増加、また今後の公共インフラ維持管理費の増高等踏まえれば、人的にも組織的にもより充実した体制で、さらに時間的にも早期の本格的な取り組みが求められると感じるがどうか。

市長 今後着実に推進するためにも、進捗状況に応じた体制整備の必要性の検討が重要

で、現行体制の充実・強化を含め、調査・研究を進めたいと考えている。

い坊市との新たな交流推進を

岩切 友好都市締結30周年を踏まえ、新たな交流について、例えば官民の高齢者福祉関係者の人材交流、民間企業の実習生受け入れ

など多面的な可能性を探るべきだと思いがい

市長 中国では高齢化が進み、い坊市でも家族介護に関する課題が現れてきていると聞く。今後の交流事業は、「日向市・い坊市交流促進協議会」の意見を聞きながら、民間交流を中心に進めていきたい。



中国・い坊市日向市友好都市締結30周年記念式典

東

郷病院へ一般財源から7千万円の繰入、改善策は

溝口 孝 議員

答

経費削減に努め、病院正常化に向け努力していく



溝口 現状での病院経営改善策として、外来患者を増やすための診療時間延長や土曜日診療の考えは。また、在宅医療、訪問看護ステーション等ができることから改善すべきと思うがいかがか。

市長 提案いただいた



小学校の授業風景（財光寺小）

た事を病院側と協議し、改善に努めなければならぬと考えている。

溝口 今年度は一般会計から7千万円の繰入金だが、今の医療体制での運営が続けば来年度以降は、一般会計から1億5千万円前後の繰入金を想定する。そのような状況が続けば、議会や市民の理解を得るのは難しいと思

溝口 今年度は一般会計から7千万円の繰入金だが、今の医療体制での運営が続けば来年度以降は、一般会計から1億5千万円前後の繰入金を想定する。そのような状況が続けば、議会や市民の理解を得るのは難しいと思

中小学校の学力の状況は

溝口 本市の学力の状況について伺う。

教育長 本年度の状

うがいかがか。

市長 経費削減に努め、一日も早く病院正常化に向け努力していきたい。

出力機器の集約を

溝口 市庁舎完成に合わせ、プリンター・コピー等を複合機に集約して出力機器のスリム化を図ること、及び情報セキュリティの確保とペーパーレス化の推進について伺う。

市長 新市庁舎では情報機器を集約し、IDカードによる「印刷制御システム」を導入するなど、印刷ミスや放置の防止情報セキュリティ強化を検討しているところである。

太

陽光発電隣接地権者の同意は必要か

柏田公和 議員

答

絶対に必要とは言えない

以上は、あらかじめ申請書が必要になる。その中で、開発区域周辺の居住者や隣接地の同意書が求められていて、極力出してくださいと指導している。

とのことであるが、これは強制力はあるのか。

部長 林地開発許可について言えば、今の法的解釈では絶対に必要とは言えない。ただ、問題になっているところでは、地元の説明がうまくいっていないかどうかで大きな差が出ている。われわれの基本的な姿勢として

地元住民の理解と同意の法的根拠は

柏田 地元住民の理解と同意が前提である

林地開発許可については、今の法的解釈では絶対に必要とは言えない。ただ、問題になっているところでは、地元の説明がうまくいっていないかどうかで大きな差が出ている。われわれの基本的な姿勢として

市民を交えた東郷病院の議論は

柏田

これから10年後20年後の日向市のいろいろな状況を判断した時に、市民を交えた形で検討委員会を作り、東郷病院の在り方を議論していく考えはないか。

市長 まずは医師確



友石 ビーチを通常で利用するサーフィン愛好者や家族連れが安心してサーフィンを楽しめるよう、ビーチの清掃や混雑する駐車場の管理を行う「ビーチクラブ」結成を検討する考えはないか。

部長 ハード整備も

さることながら、ソフト面の取り組みも重要である。多方面から意見を聞き、家族や度同好者などターゲットを意識したおもてなしの仕掛けづくりが重要であると認識している。

空き部屋の活用を

友石 一次産業の担い手不足解消に繋げる

ため、市営美砂住宅の空き部屋を活用し、ワーキングホリデーによる農林業の宿泊体験を実施できないか。

部長 国の公営住宅地域多様活用書などを利用して、空家問題の解決を含め、移住者、定住者に向けて前向きに検討していきたい。

日向シティアカデミーの取組み

友石 地域課題を解決するという時代に沿った地域づくりへの見解を伺う。

市長 日向ドラゴンアカデミーでは、市外からも参加者を受け入

れることにより、参加者同士に新しいネットワークが生まれ、日向市内の若者が大きな刺激を受けている。若者の持つ力を引き出し、新たなチャレンジを支援する施策についても積極的に推進していきたい。

友石 「日向で過ごす」若者のコミュニティスペースの確保などに駅前ログハウスの利活用はできないか。

市長 財産管理上、電源施設や空調設備など、さまざまな要件があるが、検討させていただきます。

保が最優先であるの

も検討したい。



東郷病院

柏田 日向市が、太陽光発電施設の設置業者に法的にできることは何か。

部長 2千平方メートル以上であれば開発行為で届け出の対象になる。中身を審査し、自然環境、生活環境に影響がないような形で指導を行っている。林地開発1ヘクタール

林地開発1ヘクタール

林地開発許可については、今の法的解釈では絶対に必要とは言えない。ただ、問題になっているところでは、地元の説明がうまくいっていないかどうかで大きな差が出ている。われわれの基本的な姿勢として

私たちと気軽に話をしませんか

市民懇談会のご案内

日向市議会では、議会改革の一環として、皆様のご意見を市政に反映するために、意見交換の場を設けています。名付けて「市民懇談会」。これは、グループやサークルなどおおむね数名を超える皆さんからのお誘い、要請があれば、議員の方から出かけて行って、ざっくばらんに意見交換を行おうというものです。

グループで申し込んでください

組織や団体はもちろん、例えば職場の仲間、「ママ友」、「おやじ会」、スポーツサークル、学生でもOK。ざっくばらんに話をしませんか。

その場でも出されたご意見等は、必要に応じて議会で対応していきます。



手続きは簡単

開催を希望する方は、概ね1ヵ月前までに、議会事務局まで申し込んでください。

詳細は議会事務局（電話52-8348）まで。

いつでも伺います

場所と時間については、調整により決定します。ご希望の場所で、夜間でも休日でも開催することが可能です。



ひよっこ駅伝競走大会にて

前期から数えて活動6年、議会改革特別委員会の大きな区切りとも言える議会基本条例の制定がいよいよ大詰めです。昨年12月議会中に、前文を含む全条文を全員協議会で承認し、1月20日まで1ヵ月間、ホームページ上でパブリックコメントを求めました。いただいたご意見を踏まえ文言等の最終的な調整、確認を行い、2月末開会予定の3月定例議会に提案、新年度から施行の予定です。同条例は、現に議会で行っていることを条例化し、市民に約束するものです。前文は、私たちの思いを込めて、思い切った文章にしました。施行されたら、本文ともどもぜひお読みください。

ひよっこ駅伝競走大会に参加

第5回「メデイキットひよっこ駅伝競走大会」に、前回に引き続き日向市議会チームで参加しました。今回は一つでも順位を上げるぞ！との思いで臨んだわけですが、結果は最下位・・・心が折れそうになりましたが、沿道からの声援をいただきながら、襷をしっかりとつなぎ、無事に完走できました。来年は3度目の正直となります。一人一分タイムを縮めることを目標に意気込んでいます。ご期待ください。

議会基本条例 制定へ

編集後記

本年も早いもので、1ヵ月が経過しようとしています。新たな気持ちで新年を迎えられた皆さまはいかがお過ごしでしょうか。昨年からはイメージを刷新した、「陽だまり」をさらに見やすい紙面に進化させ、より多くの皆さまに手に取っていただけるよう努力をしています。本年も温かいご支援をよろしく願っています。

日向の“未来”が見える

議会傍聴にお越しく下さい

3月定例会は 2月24日（金）開会予定です